

大会名称: 第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: 鬼北総合公園体育館 Bコート

試合区分: No. 7 少年男子 準々決勝

期 日: 2017(H29)年10月2日(月)

開始時間: 13:50

終了時間: 15:20



主審: 岩木 太郎

副審: 川村 貴昭

福岡 (九州)	○ 101	29 — 10 17 — 26 28 — 19 27 — 27 — — —	● 82	茨城 (関東)
-------------------	-----------------	---	----------------	-------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	井手 拓実	2	0	1	0	1	1	1
5	*	小野 絢喜	6	1	1	1	2	4	2
6	*	松本 礼太	9	1	3	0	0	5	1
7		松崎 裕樹	3	1	0	0	1	1	1
8		古橋 正義	5	1	1	0	0	0	0
9		永野 聖汰	9	1	2	2	1	2	1
10	*	中崎 圭斗	8	2	1	0	0	4	0
11		中田 嵩基	15	3	3	0	2	3	2
12		横地 聖真	7	1	1	2	1	4	0
13		ディアライソフ	10	0	5	0	2	6	0
14		井上 宗一郎	11	0	5	1	2	6	0
15	*	バムアンゲイ ジョナサン	16	0	7	2	2	6	0
HC		井手口 孝 / TEAM							
		合計	101	11	30	8	14	42	8

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	高原 晟也	21	6	1	1	2	1	2
5		鈴木 騰偉	0	0	0	0	2	0	2
6	*	新山 航希	16	1	4	5	1	4	3
7		宮澤 亘	15	1	5	2	2	0	5
8		中川 祥一郎	3	1	0	0	0	0	0
9	*	吉野 純貴	0	0	0	0	1	0	3
10		陣岡 燈生	5	1	1	0	2	1	0
11		鍋田 亜廉	9	3	0	0	0	0	0
12		山本 純也	0	0	0	0	1	0	0
13	*	結城 智史	2	0	0	2	1	3	1
14		細割 駿佑	2	0	1	0	4	3	0
15	*	吉田 崇紘	9	0	4	1	1	6	0
HC		佐藤 豊文 / TEAM							
		合計	82	13	16	11	17	18	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、福岡県は#6の3Pや#15のインサイドプレイで10点差とし、主導権を握る。茨城県はゾーンディフェンスに切り替え、#4の3Pなどで流れを変えようとする。しかし、福岡県はタイトなディフェンスと、内外角をバランス良く攻めるオフェンスで流れを渡さず、19点リードで終了。
第2ピリオド、茨城県はディフェンスを厳しくして徐々に流れを引き寄せ。#4の3Pや#6のジャンプシュートによる猛追で、残り2分で12点差まで詰め寄り、福岡県はタイムアウトを取る。その後は一進一退の攻防が続く、46-36と福岡県リードで前半終了。
第3ピリオド、開始直後、茨城県は#7のドライブインや#4の3Pで、一気に5点差に詰め寄り。しかし福岡県も、#11の連続得点で流れを渡さない。開始3分、茨城県の#4が負傷して交代する。その後、福岡県は#11の3Pや#14のインサイドプレイによる猛攻で差を広げる。茨城県も#8の3Pなどで応戦するが、徐々に点差が開く。福岡県が19点差をつけて最終ピリオドへ。
第4ピリオド、茨城県はゾーンプレスでプレッシャーをかけ、#11、#10の3Pで反撃を試みる。しかし、福岡県は安定したパス回しと、高さを生かしたオフェンスでリズムを崩さず、101-82で福岡県が勝利した。中心選手を途中で欠いた茨城県であったが、最後まで粘り強く戦い抜く姿勢は、観る者の心を熱くさせるものであった。

担当者: 坂本 正虎(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

